

社会資本総合整備計画 事後評価表

計画の名称	5 洪水につよい愛ある川づくり ～急激に増水する愛媛の川から命を守る～ (防災・安全) 緊急対策		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	愛媛県
計画の目標			

愛媛県が管理する河川は、延長3,072km(全国第6位)と非常に長い、これらの多くは流路が短く急流で、洪水時には水位が急上昇し、浸水被害が多発している。さらに、本県においては、東南海・南海地震の発生が懸念されており、地震・津波などにより甚大な被害がもたらされることが想定されている。こうした愛媛の河川の特性に適応し、また近年において重大な浸水被害の確認されたものおよび河川管理施設の延命化について、重点的に対策を推進し、洪水や地震・津波等の災害に強い川をつくり、県民の安全・安心な生活を確保する。

計画の成果目標 (定量的指標)

- 過去に浸水被害(床上、床下)を受けた家屋のうち、未だ浸水の恐れがある戸数を5年間で15戸 (H26目標値) 減少させる。
- 水防上、危険な箇所となっている県下の重要水防区域において、5年間で1,000m (H26目標値) 整備する。
- 愛媛県が管理するダムについて、長寿命化計画を5年間で1施設 (H26目標値) 策定する。
- 愛媛県が管理するダム、大規模な排水機場、水門について、施設の延命化を5年間で13施設 (H26目標値) 着手する。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
過去に洪水により浸水を受けた家屋のうち、被災時と同程度の出水で、5年後浸水被害が避けられる家屋数。	算定式 過去に浸水を受けた家屋数 × $\frac{\text{5年間の整備事業費}}{\text{全体事業費}}$	0戸	10戸	15戸 (対象: 767戸)
重要水防区域内における堤防整備必要延長が5年間で整備され減少する延長。 【重要水防区域: 過去の被災実績や地形、施設の現況から破堤氾濫が予想される区域】	算定式 今までの重要水防区域の整備延長の実績から整備延長の近似式を作成し、今後の5年間の整備延長を算定	0m	500m	1,000m (対象: 117,393m)
県管理ダムにおける長寿命化計画の策定率	算定式 $\frac{\text{長寿命化計画を策定する施設数}}{\text{対象施設数}}$	0	0	17% (1施設) (対象: 6施設)
県管理のダム、大規模な排水機場、水門施設における延命化の実施	算定式 $\frac{\text{延命化に着手する施設数}}{\text{対象施設数}}$	0	21% (4施設)	68% (13施設) (対象: 19施設)

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,145 百万円	A	1,145 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 $\frac{C}{(A+B+C)}$	0.0%
-------	------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	-------	--------------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	平成26年度
社会資本の重点整備方針等検討会	公表の方法	県ホームページ

交付対象事業

A 河川事業											事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	河川	一般	愛媛県	直接	愛媛県	広域河川1	-	肱川(下流)広域河川改修事業	L=1000m、築堤、橋梁	大洲市				430	243	1,048	
1-A-2	河川	一般	愛媛県	直接	愛媛県	特構2	-	大川水門特定構造物改築事業 (延命化)	水門延命化	松山市				19	0	15	
1-A-3	河川	一般	愛媛県	直接	愛媛県	特構2	-	浅川防潮水門特定構造物改築事業 (延命化)	水門延命化	今治市				5	25	26	
1-A-4	河川	一般	愛媛県	直接	愛媛県	特構2	-	宮前川放水路防潮水門特定構造物改築事業 (延命化)	水門延命化	松山市				18	2	42	
1-A-5	河川	一般	愛媛県	直接	愛媛県	特構2	-	久万川水門特定構造物改築事業 (延命化)	水門延命化	松山市				2	0	14	
合計															1,145		

B 関連社会資本整備事業											事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H22	H23	H24	H25	H26			
合計															0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業											事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H22	H23	H24	H25	H26			
合計															0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

その他関連する事業

											事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H22	H23	H24	H25	H26			
1-A'-1	一般	愛媛県	直接	愛媛県	広域河川1	-	肱川(下流)広域河川改修事業	L=1000m、築堤、橋梁	大洲市				430	243	1,765		
1-A'-2	一般	愛媛県	直接	愛媛県	特構2	-	大川水門特定構造物改築事業 (延命化)	水門延命化	松山市				19	0	27		
1-A'-6	一般	愛媛県	直接	愛媛県	特構2	-	王子川排水機場特定構造物改築事業 (延命化)	排水機場延命化	新居浜市				0	32	28		
1-A'-7	一般	愛媛県	直接	愛媛県	特構2	-	王子川水門特定構造物改築事業 (延命化)	水門延命化	新居浜市				8	132	40		
1-A'-8	一般	愛媛県	直接	愛媛県	特構2	-	河内川第一水門特定構造物改築事業 (延命化)	水門延命化	宇和島市				20	0	57		
1-A'-9	一般	愛媛県	直接	愛媛県	特構2	-	界谷川水門特定構造物改築事業 (延命化)	水門延命化	西条市				10	0	6		
1-A'-10	一般	愛媛県	直接	愛媛県	特構2	-	茨の木川水門特定構造物改築事業 (延命化)	水門延命化	西条市				17	21	31		
1-A'-11	一般	愛媛県	直接	愛媛県	特構2	-	猿子川水門特定構造物改築事業 (延命化)	水門延命化	今治市				73	0	57		
1-A'-12	一般	愛媛県	直接	愛媛県	特構2	-	国近川水門特定構造物改築事業 (延命化)	水門延命化	松前町				3	0	6		
1-A'-13	一般	愛媛県	直接	愛媛県	特構2	-	大谷川水門特定構造物改築事業 (延命化)	水門延命化	伊予市				34	40	96		
1-A'-14	一般	愛媛県	直接	愛媛県	特構2	-	本谷川水門特定構造物改築事業 (延命化)	水門延命化	宇和島市				20	13	22		
1-A'-15	一般	愛媛県	直接	愛媛県	堰堤改良	-	堰堤改良事業 (長寿命化計画の策定 (玉川ダム))	長寿命化計画策定	今治市					60	20		
合計															2,155		

A'	2,155 百万円	B'	0 百万円	C'	0 百万円	$\frac{C'}{(A'+B'+C')}$	0.0%
----	-----------	----	-------	----	-------	-------------------------	------

事後評価書

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 池田成見地区の堤防整備に伴い、農地や農作物等の流出被害が軽減されるとともに、森山地区において重要水防区域の解消が進んだ。 県内の主要な水門、樋門、排水機場13施設における長寿命化計画の策定が完了し、延命化に係る予算の平準化とコスト削減を図ることができた。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① 過去に洪水により浸水を受けた家屋のうち、被災時と同程度の出水で、5年後浸水被害が避けられる家屋数。	最終目標値	15 戸	目標値と実績値 に差が出た要因	実績値が目標値を上回っている。(達成率107%) 目標値と実績値の差が出た要因は事業効果の高い箇所(浸水被害の大きい箇所)の対策工事を重点的に実施したため、浸水被害を受ける家屋数の解消が進んだことによるものである。
		最終実績値	16 戸		
	指標② 重要水防区域内における堤防整備必要延長が5年間で整備され減少する延長。 【重要水防区域:過去の被災実績や地形、施設の現況から破堤氾濫が予想される区域】	最終目標値	1,000 m	目標値と実績値 に差が出た要因	実績値が目標値を上回っている。(達成率159%) 目標値と実績値の差が出た要因は県単独事業も含めて重要水防区域の対策工事を重点的に実施したため、重要水防区域の解消が進んだことによるものである。 (平成24年度より県の施策として「防災・減災強化枠」に重点的に配分する取り組みを進めており、河川についても「河川地震防災強化対策事業」により重要水防区域の対策工事を積極的に推進している。)
		最終実績値	1,200 m		
	指標③ 県管理のダム、大規模な排水機場、水門施設における長寿命化計画の策定率	最終目標値	17 % 1 施設	目標値と実績値 に差が出た要因	平成25年10月にダム総合点検実施要領が公表されたことを受けて、同要領に基づき詳細な点検を行い、長寿命化計画に反映させることとしたことから、点検作業及び技術的検討に時間を要しており、計画策定が遅れている。 (平成26年度の進捗状況は50%、平成28年度末に完了見込み)
		最終実績値	0 % 0 施設		
	指標④ 県管理のダム、大規模な排水機場、水門施設における延命化の実施	最終目標値	68 % 13 施設	目標値と実績値 に差が出た要因	目標値を達成できている。(達成率100%)
		最終実績値	68 % 13 施設		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 肱川(下流)地区の河川改修に伴い、大洲市道天貢線宇津橋(旧板野橋)の架替工事が完了したことにより、肱川の増水時にも通行止めになることなく、池田成見地区の住民の避難路として利用できるようになった。 			
3. 特記事項(今後の方針等)					
<p>現在、目標値として設定している項目のうち、達成率が100%に届いていない項目について、次期社会資本総合整備計画(H27~H31)において引き続き、取り組んでいくこととする。</p> <p>豪雨対策：引き続き、浸水家屋の解消及び重要水防区域の解消に取り組んでいく。 老朽化対策：ダムの長寿命化計画策定を進めるとともに、水門・樋門・排水機場については、H26年度までに策定した長寿命化計画に基づき、計画的に延命化を実施していく。</p>					

(参考図面 1)

